

「自分の思いを自分の言葉で伝えることのできる児童をめざして」 ～「書く活動」と「学びの場」を効果的に活用した授業づくりを通して～

I 研究の内容

1 研究の具体的内容

- (1) 児童の実態の把握
- (2) 自分の思いを自分の言葉で伝えることのできる児童をめざしての理論研究と「書く活動」と「学びの場」の効果的活用法の研究と実践。
- (3) Q-Uの実施（5月、11月）後の分析と活用。
- (4) 山梨県学力把握調査（3，5年），全国学力学習状況調査（6年）の結果分析
- (5) スクールカウンセラー長尾雅裕先生を招いての講義と実践。
「学級づくりのための教育カウンセリング」

2 研究の具体的方法

- (1) 年度初めに、児童による「国語力に関するアンケート」を行う。その結果に基づき、児童の「自分の思いを伝える力」の向上のために取り組むべきことを全校体制で確認し、年間を通して実施していく。年度末に同じアンケートを実施し、児童の変容を見取る。
 - ・各担任から見た児童の実態調査を学期ごとに行い、児童の実態を見つめることで、日々の実践を振り返る。
- (2) 一人一回、授業を公開する。そのうち、低・高1本ずつは共同研究とし、ブロックごとに事前に検討会をもち、その後全体会で検討する。その他の授業公開は、ブロックごとに検討と研究会を行う。授業には、NRT や、各種諸調査の結果を受けての改善点と、「書く活動」と「学びの場」を入れる。教科は、国語か算数で行う。
 - ・「書くこと」の上達のために、日頃から、日記や行事後の作文、学習感想などを書かせ、書くことに慣れさせる。児童のノートを紹介し合うなどして、ノートの取り方の工夫を学び合わせる。
 - ・様々な場面における「学びの場」のあり方を検討し、実践する。
 - ・今まで積み重ねてきた「話すこと・聞くこと」に対する具体的な取り組みを年間を通じて意識して行い、年度末に反省する。また、「おすすめの本 20 冊」など、読書活動の推進にも努める。
- (3) Q-Uの実施後、全体会で結果を発表し、その後ブロックでK13法（簡略型）で細かく分析し、今後の指導法や留意点について話し合う。
- (4) 山梨県学力把握調査（3，5年），全国学力学習状況調査（6年）の結果を担任から発表してもらい、全職員で今後の指導における留意点を確認し合う。

- (5) Q-U と構成的グループエンカウンターを取り入れた学級作りのための教育カウンセリングについての講義をしてもらう。実際に構成的グループエンカウンターを体験し、学級経営に活かす。

II 成果と課題

1 成果

- ・本校の児童の実態や課題に合った研究主題であり、今まで継続してきた研究をより深めていくことができてよかった。
- ・「書く活動」を効果的に取り入れ「学びの場」を活かすことで、児童が自信を持って自分の思いを伝えることができる姿を見ることができ、仮説が実証できた。
- ・「国語力に関するアンケート」と「各担任から見た児童の実態調査」をすることにより、児童の指導に必要なことは何なのかを把握することができた。また、児童の実態調査の結果から、児童の「書く力」が少しずつ向上していることがわかった。
- ・授業案をブロックで検討することにより、研究が深まり良かった。
- ・今年度は国語に算数を加え、研究の幅を広げられて良かった。
- ・NRT などの学力調査の結果も考慮に入れながら課題分析をしていったので、深まりのある研究になった。
- ・盛りだくさんの研究で大変だったが、Q-U や学力調査の分析をすることで、それを学級経営や授業に活かすことができてよかった。

2 課題

- ・「書く力」も「思いを伝える力」も向上してきているが、児童の実態を見るとまだ十分に満足できない部分もある。継続的に研究していく必要がある。
- ・本年度は、指導主事を招聘することができなかった。計画通り招聘できていれば、より研究が深まったと思う。

III 成果物

- | | | | |
|---|--------|-------------------------|----------|
| 1 | 第1学年 | 国語科授業案 「ゆうだち」 | 高野 恵美子教諭 |
| 2 | 第2学年 | 国語科授業案 「黄色いバケツ」 | 赤星 美佐教諭 |
| 3 | 第3学年 | 算数科授業案 「かけざんのしかたを考えよう」 | 高石 圭子教諭 |
| | | 【低学年ブロック共同研究】 | |
| 4 | 第4学年 | 算数科授業案 「計算のやくそくを調べよう」 | 新藤 徹教諭 |
| | | 【高学年ブロック共同研究】 | |
| 5 | 第5学年 | 算数科授業案 「きまりを見つけて」 | 中村 英彦教諭 |
| 6 | 第6学年 | 算数科授業案 「比と比の値」 | 田邊 博幸教諭 |
| 7 | 特別支援学級 | 社会科授業案 「くらしを支える情報」 | 八巻 恵子教諭 |
| 8 | 第6学年 | 音楽科授業案 「アンデス地方の音楽に親しもう」 | 柏原 真澄教諭 |
- (研究主任 赤星 美佐)